

一般質問

(2〜5ページ上段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は21人34件の一般質問がありました。

(他はその他の質問)

東京八王子線 代替地や土地活用の相談市の対応は

都へ相談会等の設置を強力に要請していきたい

松村 寿志議員 都市計画道路3・2・2の2号東京八王子線について、起点から甲州街道までの間では、唯一未着手である西府町付近においても、



▲現在までに事業が完了している地点

先日、都市計画変更素案の説明会が開催され、事業化に向けて進み出している。そこで、富士見通り及び10中通りとの取りつけ部分の構造について聞きたい。
都市整備部長 都の素案では、取りつけ部は本線と平面交差する計画だが、今後、詳細設計を進める中で明確にすることである。

議員 買収後の土地活用や代替地等を心配している人が多いため、市としても事業者である都とともに対応をお願いしたいがどうか。
都市整備部長 道路築造に伴う地権者の生活再建については、本市としても都へ伝えるとともに、相談会等の設置を強力に要請していきたい。

他 熊野神社裏の古墳と今後の管理及び周辺整備について

特定健診等の自己負担導入しない方が良いのでは

自己負担はない方向で検討している

村崎 啓二議員 平成20年4月から、老人保健法による住民健診にかわり、高齢者医療確保法に基づく特定健診・特定保健指導が実施される。市民が受診しやすくするために特定健診や特定保健指導、75歳以上の健康診査の自己負担

の導入は行わない方がよいと思うがどうか。
生活文化部長 自己負担の導入は行わない方向で検討している。健康診査も、現行の基本健診を踏まえ検討していく。議員 国民健康保険以外の被扶養者の居住地受診の環境つ

生ごみ処理施設 導入の考えは

臭気等の課題もあるので引き続き研究していきたい

比留間 利蔵議員 本市の生ごみ処理を行っている多摩川衛生組合の生ごみ量の47%は、生ごみであると聞く。生ごみの

市と榊原記念病院との基本協定 第4条を守るよう同病院へ強く申し入れてもらいたい

協定を守り、実行するよう申し入れていきたい

村井 浩議員 平成11年8月17日に、市と榊原記念病院の研究振興会との間で締結された、榊原記念病院建設に関する基本協定の第4条について、詳細に知りたい。
福祉保健部長 同協定の第4

条は、診療の内容を規定したもので、同病院当初の診療科目は、循環器科、内科、外科、小児科、放射線科及び麻酔科と定められている。
議員 同病院では、診療の際、循環器専門ということで、一般診療を拒否することがある。同協定の第4条をしっかりと守り、実行するよう同病院へ強く申し入れてもらいたい。市の考えは、

くりについて、市の取組は。生活文化部長 環境づくりに関しては、単価が都内各医療機関で統一される必要がある。そこで、市町村の主管課長が合同で、各医師会に対し、単価を国の補助基準単価とする依頼文書を作成し、単価交渉に臨むこととしている。
他 市の財政基盤の引き続きの安定的堅持に向けて(起債限度の数値的基準及び地方人二税の制度見直しについて)

福祉保健部長 市議会における一般質問を重く受けとめ、市民からも同様の意見も聞かれるので、同病院に対して、協定を守り、実行するよう強く申し入れていきたい。
他 おひとり様の病院へ入院等の保証人と手術等の際に同意書求められる

資源化などによりごみ減量が実現できれば、ダストボックスの撤去やごみの有料化はなくなると思う。
現在、市内の基地跡地では、様々な施設の建設が予定されているが、ごみ減量につながる施設の建設が望ましいと考える。
そこで、生ごみ処理施設を本市で導入する考えはあるか
環境安全部長 同施設は、生ごみを発酵させ、メタンガスを利用して発電するバイオマス施設など資源循環型社会の形成に向け、生ごみを資源として活用するものである。

けやき並木 今後の施策の考えは

歩行者専用道路化も視野に整備を進めたい

村木 茂議員 けやき並木は、本市の歴史や文化の象徴であり、同並木に対する施策は市

議員 宮西地域の



▲けやき並木

して活用するものである。同施設の導入については、地球温暖化の防止や循環型社会の形成に向け一定の成果があるものの、臭気が発生することや分別の徹底など解決すべき課題もあるので、引き続き研究していきたい。

の環境問題や景観形成等に与える影響が非常に大きい。市は、地区整備推進本部を立ち上げ、市内の横断的な意見を集約し、政策に反映しているところだが、今後、どのような施策を考えているのか。
市長 同並木全体の道路管理を本市に一本化することで、より効果的な整備が可能となることから、現在、都が管理している車道部分の本市への移管について調整している。今後、同並木の歩行者専用道路化も視野に入れ、周辺の再開発事業等との整合も図り、整備を進めていきたい。

同並木を中心とした、にぎわいのあるまちづくり整備について、今後の考え方は、地区整備推進本部 現在、一部の地域で勉強会等を行っているが、今後、より広い範囲を対象とした検討ができるよう、地域のまちづくりを調整していきたい。

四谷5丁目のショッピングセンター等建設計画 新たな道路整備の考えは 事業者が市道を拡幅し市に帰属する予定

市川 一徳議員 四谷5丁目

と聞くが、地域住民から、開業後の車の出入り等を心配する声が聞かれる。

そこで、建設に伴って、新たな道路整備の考えを聞きたい。
都市整備部長 市と事業者との協議において、事業者が四



▲ショッピングセンター等の建設予定地

谷地域の東西の道路交通体系に対する地域貢献として、市道6・5mから歩道2・5m、車道6・5mの全幅9m以上の道路に整備し、市に帰属する予定となっている。
議員 同センター等の開業は、地域の小売店舗等に対して、大きな打撃となる。そこで、小売り店舗の存続に関し、市としての対策を聞きたい。
生活文化部長 商店街等にアドバイザーを派遣し、必要な助言、指導やイベントへの補助など施策を行っている。今後関係機関と協力しながら、積極的な支援をしていきたい。